

『令和7年度SSH生徒研究発表会』に参加してきました

8月5日(火)～8月7日(木)、神戸国際展示場を会場に令和7年度SSH生徒研究発表会が開催されました。この大会は、全国のSSH指定校約230校が一同に会し、数学・情報、物理、化学、生物A(動物・医学)、生物B(植物・農学)、地学に分かれてポスター発表をする大会で、各分野の上位2校が、全体会で口頭発表の名誉とともに、優秀な発表研究に対しては、文部大臣賞、JST理事長賞、審査委員長賞及び奨励賞が授与されます。また、その他に12校がポスター発表賞として表彰されます。

本校からは自然科学部生物班水草研究グループの3名が参加しました。ポスター発表は「沈水植物の光合成の極性」というタイトルで、オオカナダモのような沈水植物では、光合成の炭素源として炭酸水素イオン(HCO_3^-)を葉の裏側の細胞内に取り込み、光合成に二酸化炭素(CO_2)を利用した後に残る水酸化物イオン(OH^-)を葉の表側から排出するという、光合成に係る物質移動の極性に関する研究内容でした。

本校のポスター審査は、審査時間帯の一番初めに行われたため、生徒は多少の緊張していたようですが、自分たちが取り組んできた実験内容について丁寧に説明し、審査員からの質疑に真摯に対応していました。審査の後はリラックスしたようで、ブースに来ていた他校の生徒達に自分たちの研究をじっくりと説明している様子が見受けられました。

今回の大会で、水草研究グループの生徒達は様々な研究を見聞したり、審査員からの質疑を受けたりすることで、今後何をすべきか深く自覚し、10月に開催される県高総文祭自然科学部門に向けて更なる研究の精度と深化を期している様子が窺われました。

SSH生徒研究発表会の様子

